

- * 応募作品は返却しません。
- * 原稿の末尾に、住所・氏名・電話番号
- * 募集作品の掲載や訂正などは、編集委員会に一任され、作品の著作権は市に譲渡されます。
- * 原稿は縦書き、楷書で記入してください。
- * 募集作品の掲載や訂正などは、編集委員会に一任され、作品の著作権は市に譲渡されます。
- * 原稿は縦書き、楷書で記入してください。
- * 応募作品は返却しません。
- * 原稿の末尾に、住所・氏名・電話番号

郷土文芸誌「文化薩摩川内」
第13号の作品募集

本市の文化活動の一端を紹介し、郷土の文芸・文化の向上を目的に、年に1回「文化薩摩川内」を発行しています。皆さんの応募をお待ちしています。

〔募集作品〕
 短歌・俳句・川柳・さつま狂句(短歌からさつま狂句までは5作品ずつ)、詩(一篇37行以内)、随筆(所定の原稿用紙6枚以内)、文芸評論、小論、創作、小説(文芸評論から小説までは所定の原稿用紙20枚以内)

〔応募資格〕 市内に居住または勤務する方、もしくは本市出身者

〔未発表の作品に限り〕
 *必ず、所定の原稿用紙(23字×20行)を使用(写真、図版など添付可、パソコン・ワープロ原稿可)

〔原稿用紙および募集要項は、中央図書館と各分館、各地域公民館にあります。図書館ホームページからもダウンロードできます。〕



中央図書館の「休館」について

中央図書館は、蔵書の所在状況の点検・照合などを行う「特別図書整理」のため、次の期間は休館します。休館中は資料の閲覧・貸出、学習室の利用はできません。なお、各分館は通常どおり開館します(ただし、18日は休館日)。

〔期間〕 6月16日(金)～29日(木)

* 休館中の図書の返却は「夜間・休日返本受付口」を利用ください。

を明記してください。

〔応募締切〕 9月20日(水)必着

〔応募方法〕 直接または送付

〔応募・問合せ先〕 〒895-0076 大小路町14-5 中央図書館
 ☎(22)3542

* 第13号は平成30年3月発行予定

* バックナンバーも好評販売中
 (創刊号～第12号 各500円)



わくわく薩摩川内土曜塾
「わくわく図書館」

〔時〕 6月24日(土) 10時～11時

〔所〕 中央図書館3階研修室

〔内容〕 アニメ映画

▼10ぴきのかえる

▼日本の昔ばなし(織姫と彦星 他)

〔対象〕 中学生以下(保護者同伴も可)

〔定員〕 先着30人

* 申込不要

* 参加無料

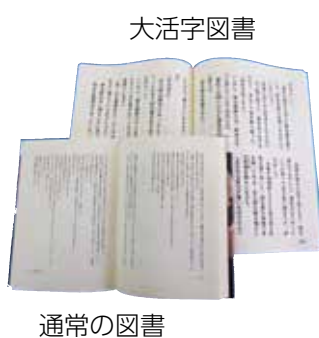
〔問合せ先〕 中央図書館
 ☎(22)3542

お知らせ

6月20日(火)開催予定の中央図書館「おはなひろば」は、都合により中止します。

見えない・見えにくい人の読書
を応援する「大活字図書」

図書館にしかない「大活字図書」は、大きな活字のため読書が楽しくなると好評です。池井戸潤の「下町ロケット」や東野圭吾の「白夜行」など、人気小説の新刊も取り寄せましたので、利用ください。分館への取り寄せもできます。



絵本

もくもくやかん
 かがくい ひろし 文絵 (講談社)

かんかん照りのある日、やかん、ポット、ジョウロ、急須が大集合。一体何が始まるのでしょうか?大きく息を吸って、止めて、ためて、出して!すると、大きな雲がもくもくもく…。やかんたちの動きや表情が魅力的で、ほほ笑ましい絵本です。

児童書

ハリネズミの願い
 トーン・テレヘン 著
 長山 さき 訳 (新潮社)

自分のハリが大嫌いで、つきあいの苦手なハリネズミ。誰かを家へ招待しようと思いましたが、あれこれ考えてなかなか招待状を送る勇気が出ません。そんなハリネズミに果たして友達はできるのでしょうか?

一般書

100歳の精神科医が見つけたこころの匙加減
 高橋 幸枝 著 (飛鳥新社)

頑張りすぎず、自分を甘やかせず。我慢しすぎず、他人を頼りにしすぎず。毎日を穏やかに、「ちょうどよく」生きるための40の真理を100歳の精神科医が伝授します。

一般書

この嘘がばれないうちに
 川口 俊和 著 (サンマーク出版)

愛する人を思う気持ちが生み出した不器用で優しい4つの嘘。コーヒーが冷める間だけ過去に戻れるという不思議な喫茶店を訪れた男性4人が紡ぐ、心温まる奇跡のストーリーです。

中央図書館から
今月のおすすめ本

川内



災害時相互協力協定を締結

4月19日(水)、市総合福祉会館で、北薩地区社会福祉協議会連絡協議会が、川内青年会議所など北薩の3青年会議所と災害時相互協力協定を締結しました。

自然災害が発生した場合、社会福祉協議会が災害復旧のために設置する災害ボランティアセンターの運営、避難所維持や災害復旧に必要な物資の調達などについて、相互協力することになりました。

薄紫の藤の花が
 淡く漂い心を癒やす
 (藤本地区コミュニティ協議会)
 平成29年5月10日撮影



里



「はやくスミソミしてください」ユニークな教職員歓迎会

4月15日(土)、PTA主催による里幼稚園、小・中学校の教職員歓迎会が、里公民館で行われました。

「1日も早く地域に住み着いて(墨付いて)ほしい」との願いを込め、恒例のイカ料理でもてなし、新しく着任された先生方を歓迎しました。

先生方は、口の周りに墨を付けながら、里の郷土料理をおいしそうに頬張っていました。

少年自然の家
 来場者100万人突破!



祁答院



蘭牟田池にベッコウトンボがいっぱい!

4月22日・29日の両土曜日、蘭牟田池でベッコウトンボの頭数調査会が開催されました。

延べ約120人の参加者が、カウンターを手に田んぼに入り、飛び交うベッコウトンボの頭数を調査しました。今回は、去年の約800頭をはるかに上回る約1,300頭が確認できました。

4月26日(水)、少年自然の家の来場者が、昭和62年7月の開所以来、100万人を達成しました。

これを記念して、くす玉割りのほか、100万人目の来場者となった、れいめい高校の生徒代表に記念品が贈呈されました。



「まちの話題」は、市民の皆さんから情報提供をいただき、身近な話題を掲載しています。ぜひ、投稿ください。